2015年04月20日

日本金融学会会員各位

日本金融学会2015年度秋季大会
プログラム委員会

日本金融学会 2015 年度秋季大会のご案内と報告論文の募集について

日本金融学会 2015 年度秋季大会を 2015 年 10 月 24 日(土)・25 日(日)の両日、東北大学（川内北キャンパス）において開催することとなりました。ここにご案内申し上げますとともに、自由論題の報告を下記のとおり募集いたしますので、奮ってご応募ください。

記

応募期限：2015 年 6 月 12 日（金）当方必着（いずれの方法で申し込む場合も同じ）

応募資格：日本金融学会の個人会員、および賛助団体・特別会員の登録会員
※ 非会員の場合は、報告申し込み以前に、学会への入会申し込みを済ませておくことが必要です。

応募内容：以下の 1 および 2
1. 申込書：別紙「報告申込書」に以下の内容を記載したもの
   (1) 報告希望者氏名（日本語・英語の双方）、所属（日本語・英語の双方）
   (2) 報告論文共著者氏名（日本語・英語の双方）、所属（日本語・英語の双方）
   (3) 報告論題（日本語・英語の双方。印刷配布されるプログラムに掲載を希望する方に○をつける。）
   (4) 報告言語（日本語・英語のうちいずれかを指定）
   (5) キーワード（3語）
   (6) 報告の該当セッション（以下のセッション案から選択）

A 金融理論	B 金融政策	C 金融仲介機関	D 金融市場分析
E 証券投資分析	F 行動ファイナンス	G 国際資本移動	H 為替・通貨
I 金融制度	J 企業金融	K 金融危機	L 金融史
M 金融マクロ	N 地域・中小企業金融	O 各国金融	P その他

   (7) 報告希望代表者の住所・連絡先（メールアドレス、電話・FAX を含む）
   (8) 希望する討論候補者 2 名の氏名、所属、住所・連絡先（メールアドレス、電話・FAX を含む）
2. 報告内容を示す資料：「報告要旨」(2 部)と「フルペーパー」(2 部)
   なお、フルペーパーのない申し込みは無効となりますのでご注意ください。

応募方法：以下の①②いずれかの方法で申し込んでください。「報告申込書」のWORDファイルは学会ホームページの「全国大会」ページで入手できます。採択された場合、「報告要旨」は学会ホームページにそのまま掲載されますので、別紙「報告要旨の執筆要綱」に従って作成してください。
① 学会ホームページの「全国大会」ページにある「大会報告申し込み」をクリックし、必要事項を記入して申し込む。注：その際、「報告申込書」「報告要旨」「フルペーパー」の各ファイルをアップロードすることが要求されます。
② 下記メールアドレス宛に、「報告申込書」「報告要旨」「フルペーパー」の各ファイルを添付して送る（不可の場合は CD-ROM または USB メモリを下記住所に郵送）。
さらに、**いずれの方法で申し込んだ場合も、「報告申込書」(2 部)、「報告要旨」(2 部)、「フルペーパー」(2 部) を印刷して、下記住所に郵送**してください。応募期限はすべて同じです。

応募先：〒980-8576　宮城県仙台市青葉区川内 27-1　東北大学経済学研究科
日本金融学会 2015 年度秋季大会プログラム委員会幹事　　永易　淳
メール：tohoku-kinyu2015@econ.tohoku.ac.jp

なお、報告者・討論者の決定はプログラム委員会が行います。審議の状況によっては、ご希望に添えない場合もありますことを、あらかじめご了承ください。　以上

日本金融学会2015年度秋季大会 東北大学（川内北キャンパス） 2015年10月24日（土）・25日（日）

報告申込書

報告希望者氏名 ＊	和文　　英文
報告希望者所属 ＊ 大学院生の場合は「○○大学 大学院生」と記入してください。	和文 英文
報告論文共著者氏名 ＊	和文　　英文
報告論文共著者所属 ＊	和文　　英文
報 告 論 題 ＊ 配布プログラムに掲載を希望する方（和文または英文）に○をつけてください。	和文 英文
報 告 言 語	日本語　　英語　　（いずれかに必ず○）
キーワード(3 語)	
報告論文の該当セッションに○をつけてください。	A 金融理論　B 金融政策　C 金融仲介機関　D 金融市場分析 E 証券投資分析　F 行動ファイナンス　G 国際資本移動　H 為替・通貨 I 金融制度　J 企業金融　K 金融危機　L 金融史　M 金融マクロ N 地域・中小企業金融　O 各国金融　P その他
報 告 内 容	「報告申込書（この用紙）」(2 部)、報告言語で執筆された「報告要旨」(2 部)、「フルペーパー」(2 部)を印刷して郵送し、それとは別に、3 つのファイルを学会ホームページ経由、あるいはメール添付の形で（不可の場合は CD-ROM か USB メモリの郵送にて）お送りください。報告要旨の様式は別紙「報告要旨の執筆要領」を参照。
報告希望代表者住所	
メール	
電話・FAX	TEL　　FAX

*がついている項目については、必ず日本語と英語**両方の表記をして下さい**。

希望する討論候補者 2 名についてご記入ください。

① 氏　　名	
所　　属	
住　　所	〒
メ ー ル	
電 話 ・ FAX	
② 氏　　名	
所　　属	
住　　所	〒
メ ー ル	
電 話 ・ FAX	

※討論者はプログラム委員会が決定しますので、上記の方々が討論者とならない場合もあります。

応募期限　2015 年 6 月 12 日(金)　当方必着　（学会ホームページ経由、メール、郵送は同じ締切日です）

報告要旨の執筆要綱

日本金融学会ホームページ委員会

大会準備委員会・プログラム委員会より、皆様に報告要旨の執筆依頼があったことと存じます。この報告要旨は、学会のホームページ(HP)に掲載されます(*)。皆様の作成された報告要旨ファイルは、そのままPDFファイルに変換され、HPに掲載されますので、以下の執筆要綱を必ずお守りくださるようお願いいたします。HPに掲載されたファイルの内容と体裁につきましては、ご報告者の責任となりますので、あらかじめご了承願います。

＊ 2008年度より、従来報告要旨を掲載しておりました『金融学会会報』(紙媒体)は廃止され、HPのみの掲載となりました。

なお、作成していただいた報告要旨ファイルは、学会ホームページ経由、あるいはメールに添付する形で(不可の場合はCD-ROM・USBを郵送する形で) 大会準備委員会・プログラム委員会に提出していただきます。提出期限につきましては、大会準備委員会・プログラム委員会からの指示に従ってください。

＜執筆要綱＞

ファイル名 ： 次のルールに基づいて作成してください。すべて半角で、(2015年度秋季を意味する)15F- を先頭に付け、第一著者のフルネームを英小文字で表記する。たとえば、15F-ogawaeiji.doc のようになる。かりに2つの報告を行う予定がある場合は、区別するために、フルネームの最後に1、2の番号を振る。たとえば、15F-ogawaeiji1.doc のようになる。

ファイルの種類 ： MS-WORD (不可の場合はテキストファイル)

＊ Word2007、2010で作成された場合は、Word2003に変換してください。

用紙サイズ ： A4判

用紙余白 ： 上下左右とも30mm(85.05pt)を標準とする。

1枚あたり字数 ： 全角計算で40字×34行を標準とする。

枚数制限:1枚(サーバーの容量もあり、必ずお守りください。)

フォントの種類 ： 日本語はMS明朝、英語・英数字は半角Centuryを標準とする。

フォントのサイズ ： 10.5ポイントを標準とする (タイトルは別)

タイトル ： 12ポイント、太字、センタリング (複数行可)

所属・氏名 ： 右寄せ(所属は機関名のみとし、部署名は省略)

注：大学院生の場合は「＊＊大学大学院生」と表記

各段落の先頭に1マス分(英語の場合は1タブ分)の空白を入れる。

具体例として、学会ホームページ<http://www.jsmeweb.org>の全国大会ページに掲載されている過去の大会の報告要旨を参照してください。